

施設見学会

令和7年11月
開催

～ 福島県の施設整備におけるカーボンニュートラルや
災害対策に向けた取り組み ～

見学施設

- ① 林業アカデミーふくしま研修施設
- ② 福島県郡山合同庁舎(施工中)

◆見学内容

- ① 林業アカデミーふくしま研修施設の施設概要と、建物に使用されている福島県と関わりの深い木材や木造技術・工法の活用について紹介のうえ、施設をご覧ください。
- ② 福島県郡山合同庁舎の施設概要と、災害などに備える庁舎としての取り組みや、環境に配慮し快適に利用できる技術について紹介のうえ、施工中の工事現場をご覧ください。



◆採用されている主な木造技術・工法

- WOOD・ALC
断面の小さな木材を接着した厚板集成板
- 縦ログ工法
木材を束ねて木の壁(パネル)とする工法



① 林業アカデミーふくしま研修施設

◆採用されている主な技術・工法

- 防災拠点としての機能を維持するため免震構造の採用や非常用発電機等を整備。
- 省エネに配慮し、地中熱ヒートポンプチャラーの採用等によりZeb Readyを取得。
- 構造体の一部にCLT材を採用。



② 福島県郡山合同庁舎



【完成予想図】

主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会

【(一社)建築設備技術者協会、(一社)公共建築協会、(公社)日本建築家協会、
(一社)日本建築構造技術者協会、(公社)日本建築積算協会 / 50音順】

共催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」東北地方協力支援会議

【青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東北地方整備局】

「公共建築の日」は11月11日 建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと、国会議事堂の完成(昭和11年11月)などから制定された。

「公共建築月間」は11月 公共建築の日を含む11月であることから制定された。

林業アカデミーふくしま研修施設

～ 県産材などの活用による最先端林業技術の学び舎 ～

【福島県 土木部 営繕課】

林業従事者の育成や技術力の向上、市町村職員の森林・林業に関する知識の習得を目的に本施設を整備しました。



[外 観]

研修生が「林業への誇り」や原木が建築物にどのように使用されるのかを実感できる施設を目指し、県産材・東京オリンピックのレガシー材、WOOD.ALC・縦ログ工法※など、福島県と関わりの深い様々な木材・木造技術を活用しています。

※WOOD.ALC:断面の小さな木材を接着した厚板集成板
縦ログ工法:木材を束ねて木の壁（パネル）とする工法

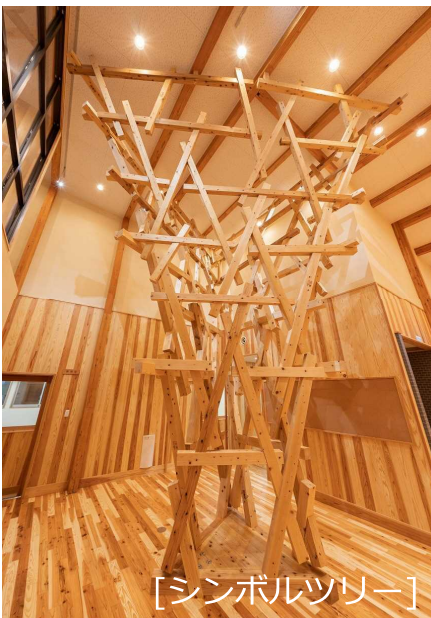
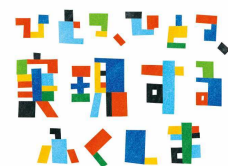
場 所：福島県郡山市安積町 地内
（福島県林業研究センター内）

構 造：木造 平屋建て

延べ面積：研修棟903㎡

実習棟422㎡

竣 工：令和4年8月



[シンボルツリー]



[研修棟交流スペース]